

みずほマーケット・トピック(2016年5月20日)

週末版

内容 1. 為替相場の動向 2. 来週の注目材料
 ※誠に恐れ入りますが「3.本日のトピック」はお休みとさせていただきます。

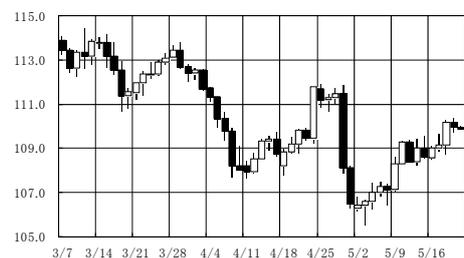
1. 為替相場の動向(関連レポート:「みずほ Customer Desk Report」、「今週の為替相場見通し」)

- ・今週のドル/円相場は上昇する展開。週初16日、海外時間に一時週安値となる108.46円をつけたドル/円は108円台後半にて東京時間オープン。安倍首相が消費増税を延期する方針との報道に日経平均株価が上昇すると、ドル/円は109円ちょうど近辺まで上昇。その後、原油価格やNYダウ平均の上昇を追い風にリスク選好の動きが強まり、ドル/円は109円台前半まで続伸した。翌17日、目立った材料の無い中、クロス円を中心にドル/円は109円台後半まで上昇するも、利益確定の売り意欲も強く109円台前半まで反落。翌18日、本邦1~3月期GDP(速報値)の市場予想を上回る結果に、消費増税先送りと日銀追加緩和への期待が後退し、日経平均株価が下落するとドル/円も一時108円台後半まで連れ安となるも、日経平均株価の反発や原油相場上昇とともに円売り優勢となり、ドル/円は109円台後半まで値を戻した。その後発表されたFOMC議事要旨で「データ次第では6月利上げの可能性を排除しない」とのタカ派な内容が伝わると米金利が上昇し、ドル/円は110円台前半まで上昇。19日、ダドリーNY連銀総裁の「米6月利上げは経済指標次第」との発言を受けて、ドル/円は109円台後半まで下落するも「6月は生きた会合」との発言もあり一時週高値となる110.39円まで上昇した。本日にかけてのドル/円は同水準にて動意に乏しい展開が続いている。
- ・今週のユーロ相場は週後半に下落する展開。週初16日、ユーロ/ドルは1.13台前半でオープン。独・仏などが休場だったため動意薄の展開となった。17日にかけても小動きが続いたユーロ/ドルは好調な米経済指標を受けたドル買いに1.13ちょうど近辺まで下落するも、その後はドル売り優勢の展開に一時週高値となる1.1349まで反発。欧米株価の軟調な値動きを受けたユーロ/円の売りや、ドルが買い戻される展開に再び1.13台前半まで下落した。翌18日、英国世論調査でのEU残留派の大幅リードを受けたユーロ/ポンドの下落に連れ安となり、ユーロ/ドルは一時1.12台半ばまで下落。その後は、独・仏国債利回りが上昇したことで買い戻され、ユーロ/ドルは1.12台後半まで反発。注目されたFOMC議事要旨ではタカ派な内容が伝わると米6月利上げ観測が高まり、ユーロ/ドルは1.12台前半まで下落した。19日、発表されたECB理事会議事要旨を受けてECBの追加緩和期待が高まり、ユーロ/ドルは一時週安値となる1.1180をつけた。本日にかけてのユーロ/ドルは1.12ちょうど近辺にて底堅く推移している。

今週のおもな金融市場動向(出所:ブルームバーグ、みずほ銀行)

		今 週				
		5/13(Fri)	5/16(Mon)	5/17(Tue)	5/18(Wed)	5/19(Thu)
ドル/円	東京9:00	109.12	108.67	109.08	109.02	110.18
	High	109.57	109.09	109.65	110.25	110.39
	Low	108.52	108.46	108.84	108.73	109.70
	NY 17:00	108.65	109.04	109.16	110.19	109.95
ユーロ/ドル	東京9:00	1.1374	1.1315	1.1315	1.1314	1.1221
	High	1.1380	1.1342	1.1349	1.1316	1.1230
	Low	1.1283	1.1300	1.1302	1.1215	1.1180
	NY 17:00	1.1310	1.1320	1.1315	1.1216	1.1203
ユーロ/円	東京9:00	124.13	122.98	123.44	123.36	123.64
	High	124.13	123.51	124.16	123.90	123.78
	Low	122.75	122.63	123.27	122.97	122.93
	NY 17:00	122.77	123.43	123.48	123.58	123.19
日経平均株価	16,412.21	16,466.40	16,652.80	16,644.69	16,646.66	
TOPIX	1,320.19	1,321.65	1,335.85	1,338.38	1,336.56	
NYダウ工業株30種平均	17,535.32	17,710.71	17,529.98	17,526.62	17,435.40	
NASDAQ	4,717.68	4,775.46	4,715.73	4,739.12	4,712.53	
日本10年債	-0.11%	-0.10%	-0.10%	-0.09%	-0.07%	
米国10年債	1.70%	1.75%	1.77%	1.85%	1.85%	
原油価格(WTI)	46.21	47.72	48.31	48.19	48.16	
金(NY)	1,273.07	1,274.20	1,278.94	1,258.55	1,254.70	

ドル/円相場の動向



ユーロ/ドル相場の動向



2. 来週の注目材料

- 米国では、24日(火)に4月新築住宅販売件数、26日(木)に4月耐久財受注(速報)、4月中古住宅販売仮契約、27日(金)に1~3月期GDP(改定値)、1~3月期PCEコアデフレーターが発表される。このうち1~3月期GDP(改定値)は、前期比年率+0.9%と速報値からの上方修正が予想される(みずほ総合研究所による予測値)。4月28日に発表された速報値は同+0.5%と2015年10~12月期(同+1.4%)から減速した。内訳を見ると、耐久財消費が2011年4~6月期以来のマイナスとなったことなどから個人消費が減速したほか、設備投資が弱い動きとなった。また、輸出が2四半期連続で減少した一方で輸入が小幅増加に転じ、外需が押し下げ要因となっている。但し、その後発表された月次指標を見ると、個人消費や設備投資が経済分析局(BEA)の想定を上回ったとみられ、市場では1~3月期GDP(改定値)は速報値から上方修正されると見る向きが多い(市場予想:同+0.8%)。また、同時に発表されるPCEコアデフレーターもGDP改定値と併せて次回6月のFOMCで年内利上げの判断材料になると考えられる。このほか、26日(木)にブラード・セントルイス連銀総裁、27日(金)にイエレンFRB議長講演が予定されている。
- 本邦では、23日(月)に4月貿易収支、27日(金)に4月全国消費者物価指数(CPI)が発表される。このうち4月貿易収支は+5700億円程度の黒字となる見込みである。既に発表されている4月上中旬(1~20日)の値を見ると、輸出は円高を背景に鉄鋼や有機化合物などが弱含み、前年比▲9.8%と7か月連続で減少している。また、輸入も原油価格下落の影響が続いたため14か月連続で前年比マイナスとなった。そのため、4月上中旬の貿易黒字は+2025億円と3月上中旬の+5103億円から2か月連続の黒字となっており、市場では4月貿易黒字は+5214億円と予想されている。このほか、23日(月)に中曽日銀副総裁講演、26日(木)~27日(金)に主要7か国(G7)首脳会議(伊勢志摩サミット)が三重県志摩市にて開催される。同会議では、財政出動における国際協調が合意されるかに注目が集まっており、特にドイツが協調的な姿勢を取るかが焦点となっている。なお、本日20日(金)から21日(土)にかけてはG7財務相・中銀総裁会議が仙台市にて開催される。経済・金融市場に関する要人発言には注意を払いたい。
- 欧州では、23日(月)にユーロ圏5月消費者信頼感(速報)、24日(火)に独1~3月期GDP(確報)、5月独ZEW景況感指数、25日(水)に独5月IFO企業景況感指数、26日(木)に英1~3月期GDP(改定値)が発表される。また、24日(火)にはユーロ圏財務相会合が開催される。

	本 邦	海 外
5月20日(金)	—————	・米4月中古住宅販売件数 ・G7財務大臣・中央銀行総裁会議(~21日、仙台)
23日(月)	・4月貿易収支	・ユーロ圏5月消費者信頼感(速報)
24日(火)	—————	・米4月新築住宅販売件数 ・独1~3月期GDP(確報) ・独5月ZEW景況感指数 ・ユーロ圏財務相会合(ブリュッセル)
25日(水)	—————	・独5月IFO企業景況感指数 ・EU経済財務相理事会(ブリュッセル)
26日(木)	・G7首脳会議(~27日、三重県志摩市)	・米4月耐久財受注(速報) ・米4月中古住宅販売仮契約 ・英1~3月期GDP(改定値)
27日(金)	・5月東京都都区部消費者物価指数 ・4月全国消費者物価指数	・米1~3月期GDP(改定値) ・米1~3月期PCEコアデフレーター ・イエレンFRB議長講演

【当面の主要行事日程(2016年5月~)】

- G7首脳会合(伊勢志摩、5月26~27日)
- ECB理事会(6月2日、7月21日、9月8日)
- 米FOMC(6月14~15日、7月26~27日、9月20~21日)
- 日銀金融政策決定会合(6月15~16日、7月28~29日、9月20~21日)
- ユーロ圏財務相会合・EU経済財務相理事会(6月16~17日、ルクセンブルク)

国際為替部
チーフマーケット・エコノミスト
唐鎌 大輔 (TEL:03-3242-7065)
daisuke.karakama@mizuho-bk.co.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、确实性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

経済指標カレンダー(2016年5月)

月	火	水	木	金	週末
<p>2</p> <p>日本 自動車販売台数(4月) 米国 ISM製造業景気指数(4月) 米国 建設支出(3月)</p>	<p>3</p> <p>日本 憲法記念日</p>	<p>4</p> <p>日本 みどりの日 米国 ADP雇用統計(4月) 米国 貿易収支(3月) 米国 労働生産性(1~3月期、速報) 米国 ISM非製造業景気指数(4月) 米国 製造業新規受注(3月)</p>	<p>5</p> <p>日本 こどもの日</p>	<p>6</p> <p>日本 マネタリーベース(4月) 米国 雇用統計(4月) 米国 消費者信用残高(3月)</p>	
<p>9</p> <p>日本 金融政策決定会合議事要旨 (3月14~15日開催分) ドイツ 製造業受注(3月)</p>	<p>10</p> <p>米国 卸売売上高(3月) ドイツ 鉱工業生産(3月) ドイツ 貿易収支(3月)</p>	<p>11</p> <p>日本 景気動向指数(速報、3月) 米国 財政収支(4月)</p>	<p>12</p> <p>日本 金融政策決定会合による主な意見 (4月27~28日開催分) 日本 国際収支(3月) 日本 貸出・預金動向(4月) 日本 景気ウォッチャー調査(4月) 日本 企業倒産件数(4月) ユーロ圏 鉱工業生産(3月)</p>	<p>13</p> <p>日本 マネーストック(4月) 日本 第三次産業活動指数(3月) 米国 小売売上高(4月) 米国 生産者物価(4月) 米国 企業在庫(3月) 米国 ミシガン大学消費者マインド(速報、5月) ユーロ圏 GDP(速報値、1~3月期) ドイツ GDP(速報値、1~3月期)</p>	
<p>16</p> <p>日本 企業物価(4月) 米国 ニューヨーク連銀製造業景気指数(5月) 米国 TICLレポート(対内対外証券投資、3月)</p>	<p>17</p> <p>日本 鉱工業生産(確報、3月) 米国 住宅着工(4月) 米国 消費者物価(4月) 米国 鉱工業生産(4月) ユーロ圏 貿易収支(3月)</p>	<p>18</p> <p>日本 GDP(速報、1~3月期) 米国 FOMC議事要旨(4月26~27日開催分) ユーロ圏 消費者物価(確報、4月)</p>	<p>19</p> <p>日本 機械受注(3月) 米国 フィラデルフィア連銀製造業景気指数(5月) 米国 景気先行指数(4月) ユーロ圏 国際収支(3月)</p>	<p>20</p> <p>米国 中古住宅販売(4月) G7財務大臣・中央銀行総裁会議(仙台、~21日)</p>	
<p>23</p> <p>日本 貿易収支(4月) 日本 景気動向指数(確報、3月)</p>	<p>24</p> <p>米国 新築住宅販売(4月) ドイツ ZEW景況指数(5月) ドイツ GDP(確報値、1~3月期) ユーロ圏 財務相会合(ブリュッセル)</p>	<p>25</p> <p>ユーロ圏 EU経済・財務相理事会(アムステルダム) ドイツ IFO企業景況感指数(5月) ユーロ圏 EU経済・財務相理事会(ブリュッセル)</p>	<p>26</p> <p>日本 企業向けサービス価格(4月) 米国 耐久財受注(4月) G7首脳会合(伊勢志摩、~27日)</p>	<p>27</p> <p>日本 東京都都区消費者物価(5月) 日本 全国消費者物価(4月) 米国 GDP(2次速報、1~3月期) 米国 ミシガン大学消費者マインド(確報、5月)</p>	
<p>30</p> <p>日本 商業販売統計(4月)</p>	<p>31</p> <p>日本 家計調査(4月) 日本 鉱工業生産(速報、4月) 日本 新設住宅着工(4月) 日本 労働力調査(2月) 米国 個人所得・消費(4月) 米国 PCEコアデフレーター(4月) 米国 S&P/ケース・シラー住宅価格(3月) 米国 シカゴ購買部協会景気指数(5月) 米国 消費者信頼感指数(5月) ユーロ圏 失業率(4月) ユーロ圏 消費者物価(速報、5月)</p>				

(注)*を付したものは公表予定が未定であることを示す。

(資料)ブルームバーグ等より、みずほ銀行作成

経済指標カレンダー(2016年6月)

月	火	水	木	金	週末
		<p>1</p> <p>日本 自動車販売台数(5月) 日本 法人企業統計(1~3月期) 米国 ISM製造業景気指数(5月) 米国 建設支出(4月)</p>	<p>2</p> <p>日本 マネタリーベース(5月) 米国 ADP雇用統計(5月) ユーロ圏 ECB理事会(ウィーン)</p>	<p>3</p> <p>米国 雇用統計(5月) 米国 貿易収支(4月) 米国 ISM非製造業景気指数(5月) 米国 製造業新規受注(4月)</p>	
<p>6</p> <p>ドイツ 製造業受注(4月)</p>	<p>7</p> <p>日本 景気動向指数(速報、4月) 米国 労働生産性(1~3月期、確報) 米国 消費者信用残高(4月) ユーロ圏 GDP(1~3月期、確報値) ドイツ 鉱工業生産(4月)</p>	<p>8</p> <p>日本 国際収支(4月) 日本 GDP(確報、1~3月期) 日本 貸出・預金動向(5月) 日本 景気ウォッチャー調査(5月) 日本 *企業倒産件数(5月)</p>	<p>9</p> <p>日本 機械受注(4月) 日本 マネーストック(5月) 米国 卸売物価(4月) ドイツ 貿易収支(4月)</p>	<p>10</p> <p>日本 企業物価(5月) 日本 第三次産業活動指数(4月) 米国 ミシガン大学消費者マインド(速報、6月) 米国 財政収支(5月)</p>	
<p>13</p> <p>日本 法人企業景気予測調査(7~9月期)</p>	<p>14</p> <p>日本 鉱工業生産(確報、4月) 米国 小売売上高(5月) 米国 FOMC(~15日) 米国 企業在庫(4月) ユーロ圏 鉱工業生産(4月)</p>	<p>15</p> <p>日本 日銀金融政策決定会合(~16日) 米国 生産者物価(5月) 米国 ニューヨーク連銀製造業景気指数(6月) 米国 鉱工業生産(5月) 米国 TICレポート(対内対外証券投資、4月)</p>	<p>16</p> <p>米国 フィラデルフィア連銀製造業景気指数(6月) 米国 経常収支(1~3月期) 米国 消費者物価(5月) ユーロ圏 消費者物価(5月、確報) ユーロ圏 財務相会合(ルクセンブルク)</p>	<p>17</p> <p>米国 住宅着工(5月) ユーロ圏 国際収支(4月) ユーロ圏 EU経済・財務相理事会(ルクセンブルク)</p>	
<p>20</p> <p>日本 貿易収支(5月)</p>	<p>21</p> <p>日本 金融政策決定会合議事要旨(4月27~28日開催分) ドイツ ZEW景況指数(6月)</p>	<p>22</p> <p>米国 住宅販売件数(5月)</p>	<p>23</p> <p>日本 景気動向指数(確報、4月) 米国 新築住宅販売件数(5月) 米国 景気先行指数(5月) ユーロ圏 EU首脳会議(ブリュッセル、~24日) 英国 国民投票</p>	<p>24</p> <p>日本 金融政策決定会合による主な意見(6月15~16日開催分) 日本 企業向けサービス価格(5月) 米国 耐久財受注(5月) 米国 ミシガン大学消費者マインド(確報、6月) ドイツ IFO企業景況感指数(6月)</p>	
<p>27</p>	<p>28</p> <p>米国 GDP(3次速報、1~3月期) 米国 S&P/ケース・シラー住宅価格 米国 消費者信頼感指数(6月) ユーロ圏 EU首脳会議(ブリュッセル、~29日)</p>	<p>29</p> <p>日本 商業販売統計(5月) 米国 個人所得・消費(5月) 米国 PCEコアデフレーター(5月)</p>	<p>30</p> <p>日本 鉱工業生産(速報、5月) 日本 新設住宅着工(2月) 米国 シカゴ購買部協会景気指数(6月) ユーロ圏 消費者物価(速報、6月)</p>		

(注)*を付したものは公表予定が未定であることを示す。
(資料)ブルームバーグ等より、みずほ銀行作成

バックナンバーをご希望の方は以下のサイトからお取り頂くことも可能です

<http://www.mizuho.com/jp/forex/econ.html>

発行年月日	過去6か月のタイトル
2016年5月18日	本邦1～3月期GDP～「不都合な結果」とはならず～
2016年5月17日	ECBのバランスシートとユーロ相場の関係などについて
2016年5月16日	消費増税先送り報道と市場への影響などについて
2016年5月13日	週末版(マイナス金利導入から3か月～外的要因に圧倒される状況続く～)
2016年5月12日	円相場の基礎的需給環境について～第1四半期を終えて～
2016年5月11日	伊勢志摩合意に必要なドイツの説得
2016年5月9日	薄れる米雇用統計の影響力～「量」と「質」の捻じれも懸念～
2016年5月6日	週末版(米為替政策報告書と「秩序的(orderly)」について～結局はドル高が辛くなっただけ～)
2016年4月28日	日銀金融政策決定会合～「良い球」を逃した結末は……～
2016年4月26日	週末版(FOMCを終えて～論点は変わらずドル高懸念～)
2016年4月25日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2016年3月分)
2016年4月25日	「原油価格上昇&円安」をどう考えるべきか?
2016年4月25日	3週間ぶりの111円台を受けて～想定通りの円安～
2016年4月22日	週末版(ECB理事会を終えて～「不都合な真実」を黙殺したドラギ総裁～)
2016年4月21日	日銀金融政策決定会合プレビュー～日銀版TLTRO2か～
2016年4月20日	ECB理事会プレビュー～強まる日本化・円化・日銀化～
2016年4月19日	震災と為替～2011年3月を参考にすべきか?～
2016年4月18日	G20を終えて～追加緩和、「やるなら今」か?～
2016年4月15日	週末版(黒田総裁NY講演を受けて思うこと～「最凶の緩和スキーム」にならないために～)
2016年4月14日	ドル高、金利上昇に脆弱な米経済の現状
2016年4月13日	通貨安競争回避で最も分が悪いユーロ圏(≡ドイツ)
2016年4月12日	敢えて探す円安材料と国際的文脈の踏まえ方
2016年4月11日	円高を巡るQ&A～よくある照会の論点整理～
2016年4月8日	週末版
2016年4月7日	FOMC議事要旨(3月15～16日開催分)
2016年4月6日	ドル/円相場、110円割れの読み方
2016年4月5日	深まるユーロ圏のデスインフレとユーロ高懸念
2016年4月4日	QQE3周年と海外の反応～米国講演を踏まえて～
2016年4月1日	週末版
2016年3月28日	日銀、「5分で読めるマイナス金利」に思うこと
2016年3月25日	週末版
2016年3月24日	ユーロ相場、再考～実質金利、PPP、実質実効為替相場～
2016年3月23日	ブリュッセルテロを受けて～目立つ英ポンドの動揺～
2016年3月22日	ユーロ圏経常黒字とユーロ相場の近況について
2016年3月18日	週末版(過去2か月のG3通貨相場から言えること～基軸通貨には逆らえず～)
2016年3月17日	FOMCを終えて～やはり「2回出来れば御の字」の米利上げ～
2016年3月16日	日銀金融政策決定会合について～際立つECBとの対比～
2016年3月15日	TLTRO2に関するQ&A～侮れない、その実力～
2016年3月14日	求められる、市場期待に対して「No」と言う勇気
2016年3月11日	週末版(ECB理事会を終えて～悔やまれる満点回答～)
2016年3月10日	日銀会合プレビュー～「Mr.Kurodaは気にしない」のか?～
2016年3月4日	週末版
2016年3月3日	今年が「円高の年」なら、まだ底は深い～過去30年の経緯則～
2016年3月2日	ECB理事会プレビュー～注目すべき論点の整理～
2016年3月1日	上海G20、為替見直しへのインパクトについて
2016年2月26日	週末版(筋が通らない日中に対する通貨安批判～まずはFRBの政策修正が筋～)
2016年2月25日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2016年1月分)
2016年2月24日	英国のEU離脱に係る論点整理
2016年2月22日	中国版ブラザ合意へ揺る期待について
2016年2月19日	週末版(ECB理事会議事要旨(1月21日開催分)を受けて～「保険」≡「混乱の種」という皮肉～)
2016年2月16日	マイナス金利で円高は「不幸中の幸い」?
2016年2月12日	週末版(やはり始まった購買力平価への回帰～最終的に報われる為替予測とは～)
2016年2月10日	弱まる「期待への働きかけ」と為替相場の関係
2016年2月9日	円の需給環境の総括と展望～15年国際収支を受けて～
2016年2月8日	米1月雇用統計を受けて～成熟化への不安～
2016年2月5日	週末版(マイナス金利決定から1週間を終えて～早くも心配される「本当のマイナス金利」～)
2016年2月4日	「終わりの始まり」が近づくFRBの正常化プロセス
2016年2月3日	円安ドライバーとしては役不足な日銀マイナス金利
2016年2月2日	日銀の追加緩和が可能だった理由
2016年2月1日	日銀マイナス金利政策導入を受けて～逐次投入体制へ～
2016年1月29日	週末版
2016年1月28日	FOMC(1月26～27日開催分)を受けて
2016年1月27日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2015年12月分)
2016年1月26日	ドラギ総裁講演について～崩れるインフレ期待の「壁」～
2016年1月25日	日銀金融政策決定会合プレビュー～静観する勇気～
2016年1月22日	週末版(ECB理事会を終えて～2連敗は避けられるか?～)
2016年1月21日	円相場の調整余地を探る～試される日銀～
2016年1月20日	ユーロ相場を巡る最近の証券投資フローについて
2016年1月19日	ECB理事会プレビュー～ECB版の補充措置へ向けて～
2016年1月18日	「あく抜け」に求められるもの～人民元の完全フロート化～
2016年1月15日	週末版(ECB理事会議事要旨について～ドラギマジック、「初の黒星」の舞台裏～)
2016年1月14日	厳しくなってきたFRBの「痩せ我慢」
2016年1月13日	本邦11月国際収支統計と円相場の需給について
2016年1月12日	Game changerになれなかった米12月雇用統計
2016年1月8日	週末版(中国外貨準備減少の正しい読み方～トリレンマの「総取り」はいつまでも出ない～)
2016年1月7日	FOMC議事要旨～「ハト派なタカ派」を再確認～
2016年1月5日	119円台前半の意味～想定為替レートとの対比～
2016年1月4日	2016年の為替見直しポイント～過去2年との違い～
2015年12月28日	2015年の為替相場総括～為替従属強まる日米欧中銀～
2015年12月25日	週末版(【暫定版】中期為替相場見直し～ユーロ相場～)
2015年12月24日	【暫定版】中期為替相場見直し～ドル/円相場～
2015年12月22日	完全雇用の背後にあるもの～景気と雇用のスレ～
2015年12月21日	日銀金融政策決定会合～QQE2.5の読み方～
2015年12月18日	週末版
2015年12月17日	FOMCを終えて～ドル/円見直しに影響なし～
2015年12月16日	日米金利差から見る現状のドル/円相場
2015年12月14日	日銀短観12月調査～後がない想定為替レート～
2015年12月11日	週末版(ECBのバランスシート拡大について～「2016年6月」に向けての進捗状況～原油価格下落のG3通貨への含意)
2015年12月9日	原油価格下落のG3通貨への含意
2015年12月8日	本邦10月国際収支統計と円相場の需給について
2015年12月7日	ECBはどうしたら踏み込むのか?今後のユーロ相場は?
2015年12月4日	週末版(ECB理事会を終えて～「故意的な失望」は転ばぬ先の杖か～)